

件名	令和3年度山梨県公営企業会計（流域下水道事業）決算概要について（報告）
経緯	令和2年4月1日より地方公営企業法を一部適用し、特別会計から公営企業会計へ移行した。本決算は、監査委員の審査を受けた後、定例県議会の認定に付される。
内容	<p>流域下水道事業の決算の概要は、次のとおりである。</p> <p>1 業務実績 令和2年度から、地方公営企業法を一部適用し、富士北麓流域下水道、峡東流域下水道、釜無川流域下水道及び桂川流域下水道の事業を運営するとともに、これらの施設の維持管理事業及び建設改良事業を行った。</p> <p>(1) 維持管理事業（収益的収支） 市町村から徴収する流域下水道維持管理負担金（以下「維持管理負担金」という）等により幹線管路や処理場等、流域下水道施設の維持管理事業を行った。 なお、流域下水道で、年間 39,411,540立法メートル（1日平均 107,977立法メートル）の下水を処理した。</p> <p>※維持管理負担金は、市町村から徴収した額を維持管理費用の実績に基づき精算し、発生した余剰額は、次年度の維持管理負担金に充当している。</p> <p>(2) 建設改良事業（資本的収支） 国庫補助金などを活用し、流域下水道施設における機能の維持・向上を図るため、幹線管路・処理場等において地震対策や長寿命化対策などの施設整備を計画的に行った。</p> <p>2 損益状況 今回の決算では、収益は維持管理負担金などにより、約84億249万円、費用は、施設の運営や維持管理に必要な経費として、約84億762万円となった。 その結果、約513万円の純損失となった。 今後も引き続き、施設の運営や維持管理について、費用の縮減や効率的な事業の執行に努めることで利益の確保を目指す。</p>

令和3年度 山梨県流域下水道事業決算状況

1 維持管理事業

(1) 収益的収支の状況

(単位：円)

区 分		令和3年度	令和2年度	比較 (R3-R2)
収益的収支	収入	8,402,490,926	7,944,912,921	457,578,005
	支出	8,407,622,440	8,335,642,045	71,980,395
	差引	△ 5,131,514	△ 390,729,124	385,597,610

(2) 業務実績 (処理水量の状況)

(単位：m³)

区 分		令和3年度	令和2年度	比較 (R3/R2)
年間総処理水量		39,411,540	40,352,732	97.7%
	富士北麓流域	7,779,915	7,639,200	101.8%
	峡東流域	10,546,212	11,019,786	95.7%
	釜無川流域	18,509,110	19,176,968	96.5%
	桂川流域	2,576,303	2,516,778	102.4%
1日平均総処理水量		107,977	110,555	
	富士北麓流域	21,315	20,929	
	峡東流域	28,894	30,191	
	釜無川流域	50,710	52,540	
	桂川流域	7,058	6,895	

2 建設改良事業

(1) 資本的収支の状況

(単位：円)

区 分		令和3年度	令和2年度	比較 (R3-R2)
資本的収支	収入	2,054,168,889	2,205,302,867	△ 151,133,978
	支出	3,437,395,205	3,177,374,871	260,020,334
	差引	△ 1,383,226,316	△ 972,072,004	△ 411,154,312

(2) 事業実績 (主な改良工事)

- ・ 富士北麓浄化センター汚泥処理棟他電気設備改修他工事
- ・ 峡東浄化センター管理本館受変電設備更新他工事
- ・ 釜無川センター汚泥棟汚泥脱水機設備更新他工事